



アステラスメールマガジンです。

今回は、5月26日に発表した経営計画2026関連の情報、6月19日開催予定の第21期定時株主総会の情報と最近のニュースについてお知らせします。

経営計画2026により、アステラスは持続的な成長軌道を確立し、パイプライン主導の成長を通じて、2030年代半ばまでに過去最高水準の売上収益を目指します。

経営計画2026は、自己資金創出を基盤とした成長戦略です。高い収益成長によるキャッシュの創出、パイプライン主導による成長の加速、規律あるキャッシュアロケーション、全社的な生産性向上の4つの目標を実現することで、患者さんにより大きな「価値」をより速く創り、届けていきます。

そして、これらの戦略を確実に実行し、その進捗を明確に示すために、経営計画2026の期間を通じて達成すべき成果指標として、10件以上の第III相/ピボタル試験の開始、研究開発費控除前コア営業利益の累計4.3兆円以上、配当の持続的な引き上げの3つの計数目標を設定しました。

株主還元について、本経営計画期間中は配当を持続的に引き上げていく方針であり、具体的には、毎年2円以上の増配を行います。なお、年間2円の増配はあくまで最低水準であり、利益の上振れや投資の進捗状況などに応じて、増配幅の引き上げを含めたさらなる株主還元を目指していきます。

経営計画2026ホームページ、説明会資料やオンデマンド動画などを当社ウェブサイトに掲載していますので、経営計画2026の内容をぜひご覧ください。

IRミニトピックス

＜IR関連情報＞

■経営計画2026を発表しました

経営計画2026の概要を、こちらのページからご覧いただけます。

[経営計画2026ホームページへのリンク](#)

5月26日発表 経営計画2026説明会資料とオンデマンド動画を掲載しています。

[資料へのリンク](#)

[オンデマンド動画へのリンク](#)

■Our Stories 経営計画2026：新たな挑戦の始まり

経営計画2026は、今後5年間にわたる持続的な成長に向けた戦略です。本計画は、全社的なコラボレーション、明確な優先事項、そして価値観と行動への強いコミットメントのもと、経営陣とチームが対話を重ねて作り上げました。本記事では、新たな戦略がどのようなプロセスを経て作られてきたのか、その舞台裏を振り返ります。

[経営計画2026：新たな挑戦の始まり](#)

■第21期定時株主総会（6月19日開催予定）に関する情報

6月3日に、招集ご通知および配当金関連書類を発送しました。

当社の定時株主総会は、例年と同様、会場出席に加え、インターネットによるご出席が可能です。当社ウェブサイト「IRライブラリー」に招集ご通知を掲載しておりますので、ご参照ください。また、以下のお知らせをあわせて掲載しておりますので、株主の皆様におかれましては、議決権行使の前にご確認をお願い申し上げます。

- ・ 社外取締役辞任のお知らせ及び第21期定時株主総会付議議案の一部撤回に関するお知らせ
- ・ Institutional Shareholder Services Inc.の議決権行使助言に関する当社の見解について

[株主総会資料へのリンク](#)

■6月3日 2026 Jefferies Global Healthcare Conference in New Yorkにおけるプレゼンテーション

代表取締役社長CEOの岡村直樹が、6月3日に開催された2026 Jefferies Global Healthcare Conference in New Yorkに登壇し、経営計画2026を中心に発表しました。説明会資料、スクリプトおよびオンデマンド配信をIRライブラリーからご覧いただけます（英語のみとなります）。

[資料およびオンデマンド動画へのリンク](#)

■5月14日 抗体-薬物複合体パドセブ（エンホルツマブ ベドチン）シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱がんを対象としたペムブロリズマブとの併用療法について 日本で適応追加に関する承認申請

Pfizer Inc.と共同で開発を進めている抗体-薬物複合体パドセブ（一般名：エンホルツマブ ベドチン（遺伝子組換え））とMSD株式会社の抗PD-1抗体キイトルーダ（一般名：ペムブロリズマブ（遺伝子組換え））の併用療法について、シスプラチンを用いた化学療法に適応のある筋層浸潤性膀胱がん（MIBC）患者を対象とした術前術後の補助療法として、日本で適応追加に関する製造販売承認事項一部変更承認申請を行いました。本申請は、第III相EV-304試験（KEYNOTE-B15試験）の結果に基づくものです。

本件によるアステラス製薬の通期業績への影響は、通期（2027年3月期）連結業績予想に織り込み済みです。

[プレスリリースへのリンク](#)

■5月15日 IZERVAY™（avacincaptad pegol）中国国家薬品监督管理局の医薬品評価センターが承認申請を受理

地図状萎縮（GA）を伴う加齢黄斑変性（AMD）の治療薬として開発中のIZERVAY（一般名：avacincaptad pegol、以下「ACP」）硝子体内注射液について、中国国家薬品监督管理局（NMPA）の医薬品評価センターから新薬承認申請（NDA）を受理した旨の通知を受領しました。ACPは、中国において優先審査指定を取得しました。

NMPAによるNDAの受理は、GA患者さんにおける高いアンメットメディカルニーズに加え、グローバル臨床試験であるGATHER1およびGATHER2試験の結果に基づいたものです。

ACPは、GAを伴うAMDの治療薬として、米国、オーストラリア、マカオ、および日本で承認されています。アステラス製薬は、ACPを一日も早く患者さんに提供し、アンメットメディカルニーズの高いGAを伴う萎縮型AMDの治療に貢献していきます。

本件によるアステラス製薬の業績への影響は、通期（2027年3月期）連結業績予想に織り込み済みです。

[プレスリリースへのリンク](#)

■5月19日 2026年米国臨床腫瘍学会（ASCO）年次総会において各病期にわたる当社ポートフォリオの長期転帰および実臨床での使用に関するデータを発表

[プレスリリースへのリンク](#)

■5月22日 抗体-薬物複合体PADCEV™（エンホルツマブ ベドチン） シスプラチン不適応の切除可能な筋層浸潤性膀胱がんを対象としたペムブロリズマブとの併用療法について 欧州CHMPが販売承認勧告を採択

Pfizer Inc.と共同で開発を進めている抗体-薬物複合体PADCEV™（一般名：エンホルツマブ ベドチン（遺伝子組換え））とMerck & Co., Inc.の抗PD-1抗体Keytruda（一般名：ペムブロリズマブ（遺伝子組換え））の併用療法について、シスプラチンを用いた化学療法に不適応の切除可能なMIBC患者を対象とした術前術後の補助療法として、欧州医薬品庁の欧州医薬品委員会（CHMP）が、適応追加に関する販売承認勧告を採択しました。

今回のCHMPによる勧告は、第III相EV-303試験（KEYNOTE-905試験）の結果に基づくものです。CHMPによる販売承認勧告に従い、欧州連合に加盟している全27カ国の他、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーで医薬品を承認する権限を持つ欧州委員会が最終的な承認可否を判断する見込みです。

本件による当社の通期業績への影響は、通期（2027年3月期）連結業績予想に織り込み済みです。

[プレスリリースへのリンク](#)

くすりの国際会議

くすり創りには、さまざまな

知恵や発想が必要だから。

アステラスの会議は、

毎日が国際会議。

国籍、年齢、性別を問わず、

さまざまな人材が意見を出し合う。

世界の知恵が掛け算されて、

まだないくすりは創られていく。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

先日、自宅の庭のジューンベリーを収穫しました。ジューンベリーは6月に実を付けることからその名がついていますが、温暖化のためか、ここ数年は5月のうちに深紅の実を付けています。今年は特に豊作で、スズメが仲間を呼ぶ鳴き声や鈴なりの実をついばむ姿は、休日の私の癒しになりました。私は、自家製のジャムで初夏の実りを楽しみたいと思います。

みなさまの声をお聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケートを実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートフォームはこちら。

<https://forms.office.com/r/0PeK6tvG61>

アステラスメールマガジン No.131 (2026/6/5)

◆配信停止は下記から↓

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=bm65634vc&task=cancel>

◆発信元 アステラス製薬株式会社 (編集：広報 IR)

お問い合わせ先：<https://www.astellas.com/jp/form/individual-investors-contact>



